

特集 上手に使おう福祉用具レンタル

レンタル事業者なんてどこでも同じ、と想っている方はいませんか。いえいえ、それぞれが工夫を凝らしてサービスの向上に取り組んでいます。その「努力」の一端をご紹介します。

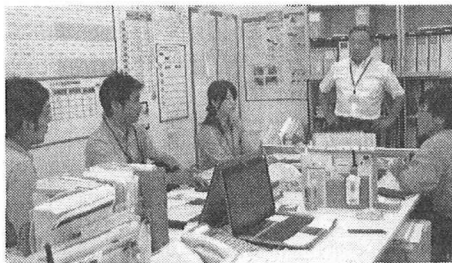
サービスを支える「人」がすべてといっても過言ではない。どれだけ人材育成に力を入れているのは外から分かりにくい。大手は教育コストをかけやすいが、中小ならではのこだわりを持つ企業も。

2002年に設立したフジヤマサービス（東京都大田区）は、5年前から毎年新卒採用を行っている。コストも時間もかかるにもかかわらず、「あえて新卒採用」にはもちろん理由がある。

人材育成

鉄は熱いうちに打て「新卒採用」にこだわり

フジヤマサービス



20~40代の相談員らが現場で活躍

「サービスの質の向上に即効薬はありません。取り組みが5~10年経った時にその差が表れると考えて今取り組んでいます」
 同社は福祉用具レンタルや住宅改修、行事や催事、勉強会の企画運営、有料老人ホームの入居相談までを一環として行う「ベテラリスト」。搬入業者。今後に注目！

会社説明会▽1次選考▽2次選考▽1日現場体験▽内定者候補者食事会、そしてようやく社長面接に至る。少なくとも6~7回の選考をクリアしなければ内定にたどり着けない仕組みで、しかも最低2クール行うというから、人事部のない会社説明会という優秀すぎる学生だと難しい面もある。冷静に分析。慎重に、なおかつしっかりと自社の求めている人材を選び抜いている。

内定後は内定後で研修が続く。特徴的なのは、新人研修の一環として行う「ベテラリスト」。

社にとってはかなりの負担となる。しかも、民間介護事業者の浸透もあって、ここ数年は2~3人程度の採用枠に200人もの学生が応募してくる。中には一流国立大学の学生からの応募もあるが三縄浩司社長は「この仕事は汗もかく仕事。一般的に言う優秀すぎる学生だと難しい面もある」と冷静に分析。慎重に、なおかつしっかりと自社の求めている人材を選び抜いている。

同社は福祉用具レンタルや住宅改修、行事や催事、勉強会の企画運営、有料老人ホームの入居相談までを一環として行う「ベテラリスト」。

社にとってはかなりの負担となる。しかも、民間介護事業者の浸透もあって、ここ数年は2~3人程度の採用枠に200人もの学生が応募してくる。中には一流国立大学の学生からの応募もあるが三縄浩司社長は「この仕事は汗もかく仕事。一般的に言う優秀すぎる学生だと難しい面もある」と冷静に分析。慎重に、なおかつしっかりと自社の求めている人材を選び抜いている。

同社は福祉用具レンタルや住宅改修、行事や催事、勉強会の企画運営、有料老人ホームの入居相談までを一環として行う「ベテラリスト」。